

眼とメガネの健康情報

プラスチックのレンズコート

現在販売されているプラスチックレンズには、ほぼ100%近く、何らかの表面コーティングがされています。メガネレンズの寿命はどれくらい？とのお問い合わせが時々ありますが、このコーティングがどれだけ持つかがレンズの寿命となります。

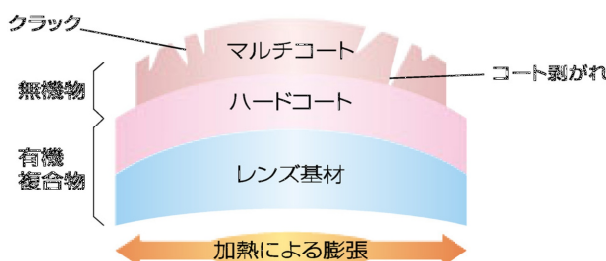
寿命を延ばす

プラスチックレンズはちょっとしたことの積み重ねで痛みます。まずは、どんなことがレンズの寿命を縮めるかを正しく知っておきましょう。

① 熱に弱い

特殊なコーティングを使わない限り、ある程度の熱が加わるとレンズ素材とコーティング素材の伸縮率の違いにより、コーティングにヒビが出来る「クラック」という現象が起こります。クラックを起こした状態だと、レンズの性能も低下し、コーティング自体もレンズから剥離しやすくなります。熱を与えるお風呂やサウナでの使用は厳禁です。ぬるま湯でのメガネ洗いや避けたほうが良いでしょう。夏場の車内への放置も危険です。

熱によるコート剥がれの様子



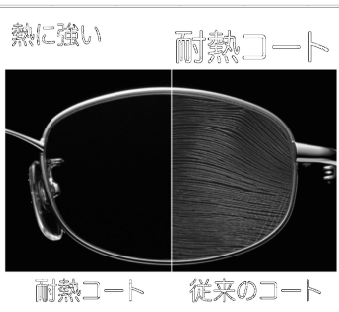
② 洗剤に注意

コーティングは薬剤にとても弱い一面があります。洗剤に含まれるアルカリ性や酸性の成分に触れると、コーティングを痛めます。特に、アルカリ性の液体はレンズのキズなどから浸透し、コーティングを浮かせて剥離させるので、汚れが酷い場合は中性洗剤を使い、通常は水洗い程度にしておくとい良いでしょう。

プラスチックレンズが最初に発売されてからすでに数十年近くの月日が経ちました。現在も様々な種類のレンズが生まれ、レンズを保護するコーティングも進化し続けています。ここから先は、最近新しく生まれたコーティングをいくつか紹介したいと思います。

熱に強いコート

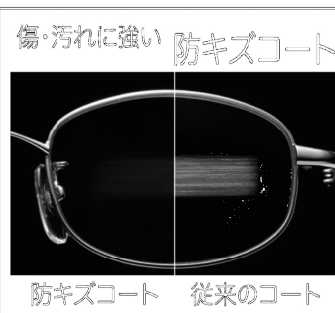
レンズ素材とコーティング素材を共に有機物にすることで、熱による伸縮率を揃え100℃前後まで耐えられるコーティングが出来ました。



キズに強いコート

レンズ表面に特殊なフッ素化合物をコーティングすることにより、従来のマルチコートよりも傷や

汚れが付きにくく、汚れが付いても拭き取り易い為にお手入れが簡単です。



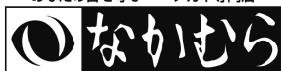
他にも、サングラスレンズをより格好良く見せるために最適なコーティングや、ほとんど全てのレンズに標準装備されている反射防止コートのグリーン色の光を、様々な色に変えるパレットコートなどが出ています。

特にパレットコートは、肌にグリーンの反射光が当たると、シワやクマなどが実際よりも際立って見えてしまうという悩みの解消に一役買ってくれます。たとえば、ピンク系の反射光に変えれば、シミ、小じわ、クマなどが目立ちにくくなるため、女性にはとても喜ばれます。また、男性には目元が若々しく見えると青系の反射光が好評です。ぜひご相談下さい。



ベターなものよりーベストなものへ

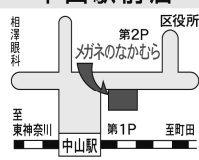
あなたの目を守る — メガネ専門店



Optical Shop

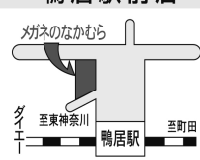
Nakamura

中山駅前店



〒226-0014 横浜市緑区台村町290
☎ (045) 631-2499 (代) AM10:00~PM8:00
<年中無休> 中山商店街南1- 第2駐車場 (1時無休)

鴨居駅前店



〒226-0303 横浜市緑区鴨居1-7-1
☎ (045) 933-0003 (代) AM10:00~PM8:00
<年中無休>

ららぽーと横浜店



〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4035-1 (3F)
☎ (045) 414-2424 (画) AM10:00~PM9:00
<年中無休>